



## 「教える」ことを忘れないで

入園、進級後、新しい園生活が始まり、2ヶ月が過ぎました。それぞれの子どもに育ちの小さな違いはあっても、子ども達には落ち着きが見られるようになってきました。まだまだそれぞれの子供の思いが強く、自分の思いや主張を調整できず、小さな意見のぶつかり合いや、物の取り合いもあつたりするのですが、これ乗り越えてこそ、子どもの力が育ってくることを信じて、今は大らかな気持ちで対応していく事が大切です。

先日こんなことがありました。年少組のある子どもが職員室前にたくさん敷いてある石ころをいじっていました。持ち上げて何をするのかなと見ていますと、コンコンと建物を叩きだしました。このままですと、建物に傷が付いたり、誤って自分が怪我をするかもしれません。そこへ担任の先生がさっとやって来て、「この石ころさん、痛い痛いになるからね。こうして遊ぼうか。」と石ころを並べだしました。石ころを横に並べて、つないでいく遊び方を伝えたのです。石ころがいくつも繋がり、面白い線、形が出来る遊びです。すると、その子はニコッと笑って建物を叩くのを止めて、グリーンの上の芝の上に石を次々と並べ出しました。やがて他の子ども達もやって来て、自然とどんどん石が繋がって、長い長いきれいな線が職員室の前に出来上がります。丸が出来たり、自分の周りを囲んだり、数人の年少組さんが先生と夢中になって遊んでいます。

こんな石ころの楽しい遊びを一度経験すると、子どもは石を投げたり、叩いたりすることが無くなっていきます。こんなところに石を置いて、自由に使えるようにして危険はないんですか?という質問を保護者の方や見学に来た他の園の先生方から聞く事があります。そんな時は、「石そのものが危ないのではなくて、子どもが遊び方を知らないから、投げたり、叩いたりしてしまうんですよ。面白い遊び方を一度知れば、絶対に石ころも大事に扱って、危ない事はしなくなります。」と説明しています。

どんなものでも、扱い方や遊び方を知らないから、子どもは振り回したり、投げたりするんですね。最初は、丁寧に遊び方、扱い方を教える。そして一緒に遊んでやる。そのうち、子ども自身が新しい遊び方を見つけたりして、遊びが活発になると、先生は遊びの中からいったん身を引いて、見守ってやるようにします。これは保育の基本中の基本のセオリーです。「遊び方は、まず丁寧に教える」「一緒に遊んで、面白さを共有する」「子ども自身が新しい遊び方を見つけたら、それを褒めてやる」「その後、子ども同士の遊びを温かい気持ちで見守る」これが出来れば、子どもはどんどん自信を深め、意欲的になるものです。そして、どんどん落ち着いて、ガサガサしくなくなります。

子どもに落ち着きがない、言動に棘があるなどと思ったら、それはじっくり遊びたいのに、理由もなく禁止される、遊ぶとダメダメばかり言われる、一緒に楽しく遊んでももらえない、などの不満が原因です。遊び方のみならず、道具の扱い方や生活の約束事などを優しく教えてもらえない事も重なると、子どもはどうしていいかわからなくなって、心がささくってしまうのです。

主体性や自主性というものは、子どもをほったらかしにして育つものではありません。実は、「丁寧に教える事」から始めなければなりません。「教える事は愛そのもの」だと考えています。教える側の大人は、そのことで知恵も忍耐も、思いやりの力も、授かるのだと思います。これも一つの幸せと考えれば、子育ては喜びになります。共に汗をかきましょう。



## 行事予定



### 2 (木) ~ 1学期保育参観

※各クラスの参観日程や詳細は、れんらくアプリで配信いたしました案内をご確認ください。

### 3 (金) 年少組 身体計測

※下着、シャツ類には必ず名前を記入のこと。また女の子は身長を計測しやすいように、ヘアースタイルは考慮して下さい。

### 15 (水) お弁当日

#### 下旬頃 防犯訓練 (予定)

【内科検診】	5月25日 (水)	光組、松組、梅組、桜組	(終了)
	31日 (火)	星組、雪組、月組、花組、椿組	(終了)
	6月 8日 (水)	うさぎ組、ひよこ組、鳩組、空組	
	13日 (月)	アヒル組、パンダ組、コアラ組、ひばり組	

【耳鼻検診】	6月16日 (木)	年長組
	20日 (月)	年中組
	23日 (木)	年少組



## お知らせ



### <園内での蚊や虫等の対応について>

気温も高くなり、蚊や虫が増える時期になってきました。園での蚊や虫等の対応について以下をご確認ください。

- 二酸化炭素で蚊を駆除する「モスキートマグネット」を水路や植木の多い場所(2カ所)に設置。
- 各トイレや廊下に保育室入り口に忌避剤を設置。
- バスの待機時間、園迎えの際の待機時間には、待機場所に蚊取り線香を焚く。
- 用水路の清掃と消毒散布。(松原市に依頼)

その他、出来る限り蚊が寄ってこないよう環境を整えております。自然が多い幼稚園ですので、必然的に蚊や虫も発生してしまいますが、今後も引き続き、対策を進めてまいりますので、ご理解くださいますようお願い致します。

※また、虫さされに対して、虫さされで患部がひどく腫れ上がってしまう場合や何らかのアレルギー反応が出てしまう園児に関しては、担任に相談の上、虫よけシートや塗り薬を持参していただき、別途対応しております。投薬の際は、投薬依頼書が必要となりますので、使用される際は担任までご提出ください。

※虫除けのリングやパッチなどは各自つけていただいても構いませんが、外して友達にあげたり、園で遊び道具にしないようご家庭でも指導して下さい。特にパッチなどは、取れてしまった場合は園で処分しますので、予めご了承ください。